

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	経営情報論		
英文授業科目名	Management Information		
開講年度	2005年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム運用学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報システム運用学専攻		
担当教官名	山田 孝子		
居室	P - 5 1 0		

公開E-Mail	授業関連Webページ
takako@is.uec.ac.jp	

【講義の狙い，目標】
<p>激しく変化するビジネス環境に適応していく企業にとって、経営に関わる膨大な情報をいかに管理し、活用するか、はたいへん重要な課題ある。本講義では、まず経営論、組織論などの基本的な経営学の用語や経営情報システムの企業内での活用を最初に学ぶ。次に重要な意思決定の局面にある企業をケーススタディとして取り上げ、状況のポイントを把握し論理的に分析することをめざす。受講者は資料を読みこなし、議論を通し、立場の異なる意見に耳を傾け、経営の論理を発見すること、実際のケースやビジネスゲームを題材に多面的な解釈や価値観の理解をめざす。講義の中では、できるだけ「データに裏付けられた合理的な根拠」を示すことを求めるので、財務諸表等の見方も含め、初歩的な経営分析についての講義も最初に行う予定である。</p>

【内容】
<p>(1) 経営と組織の諸理論 (2) 経営分析 (3) 企業と経営情報システム (4) ケーススタディとして次のような特徴をもつ企業事例をとりあげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争と市場への適合 ・技術開発のマネジメント ・経営の論理と組織 ・新しいビジネスモデル <p>(5) ビジネスゲーム：構造は行動をいかに規定するか</p>

【教科書，参考書】
<p>特に教科書は指定しない。必要な資料は講義時に配布し、参考文献も紹介する。</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

【予備知識】

特に要求しないが、各ケースとして取り上げる企業について自主的に経営データや資料収集し、読みこなすことが要求される。講義中の議論にどのくらい貢献できるか、が大事なポイントである。資料とデータに基づき自分の解釈を積極的に発言すること。

【演習】

各ケーススタディ後に分析レポートの提出を求める

【成績評価】

(1) 講義中の質疑応答、議論への貢献

(2) 分析レポート

から総合的に評価する

【その他】